

産業振興部

農林課

1. 農業振興係

○農業振興計画に関すること

○農業振興地域の整備に関すること

5年ごとの見直しを行う特別管理の年に当たり、基礎調査の結果により
農業振興地域整備計画の変更を行った。

○農業生産技術及び農業経営の改善普及に関すること

志摩市農業経営・生産推進協議会の開催

(7月26日・3月3日)

農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想一部見直しについて検討
平成22年度農業生産者団体育成補助事業選考について

(5団体 事業総額3,305千円 補助決定額 900千円)

志摩市地域担い手育成総合支援協議会の開催(7月26日・3月3日)

認定農業者の認定審査(再認定12名)

○経営基盤強化促進法に基づく基本構想に関すること

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想変更県協議

利用集積計画作成 74件 108,074㎡

○地域農業マスタープランに関すること

○新規就農者・担い手対策に関すること

認定農業者期間満了者(16名)の聞き取り調査

○米穀の生産調整に関すること

志摩市水田農業推進協議会の開催(4月30日・3月24日)

平成23年度水稻生産目標数量の配分方法について

平成22年度産地確立計画の承認

水田農業ビジョンについて

戸別所得補償制度について

戸別所得補償制度の実施

平成22年度戸別所得補償モデル事業

米モデル対策交付金 448件 84,914,900円(農家へ直接支払)

水田利活用交付金 18件 488,200円(同)

戸別所得補償制度導入推進事業

推進事業費 1,305,200円

○主要農産物の生産流通に関すること

○農村地域の活性化に関すること

特産物販売施設の管理運営

特産物開発センターの管理運営

特産物の生産加工販売、新製品の開発
集落機能再生「きっかけづくり」推進事業

浜島町桧山路でワークショップ開催

○果樹園芸の指導に関すること

柿の接木講習会の開催(5月11日) 21名参加

ブルーベリー栽培講習会の開催(6月25日) 18名参加

梅の剪定講習会の開催(11月17日) 41名参加

オクラ種幹旋 5件

○特産品普及推進に関すること

ブルーベリー苗木に関するアンケート結果及びブルーベリー果実の買取
ゆずプロジェクト参加

○作物の防疫に関すること

○農業金融に関すること

志摩市特別融資制度推進会議の開催

資金活用決定(6件)

○農業委員会との連絡調整に関すること

○農業関係団体に関すること

鳥羽志摩営農連絡会議の開催(10回)

鳥羽志摩農業協議会

総会の開催 (6月17日)

農産物品評会開催 (12月19日)

農業塾「なごみ」第1期生の募集

農業生産者団体の育成

ファーマーズ・マーケット(インショップ)の実施

水稻の推進

○伊勢地域農業共済事務組合との連絡調整に関すること

水稻共済細目書、建物共済の取次

○観光農園

4月24日から芝桜公園をオープン、7月25日に一周年記念青空市開催した。

○その他農業振興に関すること

地産地消の推進

JA鳥羽志摩主催の農業祭への協力

JA鳥羽志摩へ(あぐりスクール他)地産地消産地化推進事業補助金として

900,000円を支出した。

2. 農林畜産基盤整備係

○森林整備計画に関すること

伐採届の受理(16件)

○造林に関すること

- (1) 志摩市造林委員会を開催し、志摩市有林の管理について協議した。

報酬:335, 000円

- (2) 市有林の間伐を行った。

地区:磯部町沓掛地区

委託料:1, 031, 100円(委託先:いせしま森林組合)

事業内容:間伐

- (3) 森林環境創造事業

森林の公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため森林の管理を行った。

総事業費: 1, 971, 900円

(県補助金 1, 577, 520円・市負担金 394, 380円)

- ①施工場所:阿児町地内 横山創造の森

事業内容:下刈り10. 89ha ケヤキ下刈り2. 15ha

- ②施工場所:浜島町地内 磯笛公園(オバベタ山)

事業内容:歩道草刈 0. 87ha

- ③施工場所:磯部町地内 漁火の森

事業内容:下刈り 2. 25ha 車道整備 0. 14ha

歩道整備 0. 75ha

○保安林に関すること

○緑化事業に関すること

四季花咲くまちづくりを推進するため稲作後の水田、遊休農地等を利用して花の種子(コスモス、ヒマワリ)を蒔いた。また、創造の森桜園等の管理、山口農園の管理を行った。ヲバベタ山(なごみの丘)、漁火の森、創造の森において、森林の整備を行った。

- (1) 福川原景観モデル事業

事業費: 50, 000円(委託料)

15, 180円(種子等購入費)

事業内容:ヒマワリ、コスモスの作付け及び管理

- (2) 四季花咲くまちづくり事業

事業費:383, 218円(委託料)

258, 825円(種子等購入費)

事業内容:コスモスの作付け及び管理

- (3) 桜園等管理委託事業

創造の森桜園等の管理業務

事業費:282, 740円(委託費)

業務内容:除草、施肥及び園内の下刈り

(4) 松くい虫防除事業

①松くい虫の被害から松を保全する為に薬剤の地上散布を行った。

事業費:283,500円

施工場所:阿児町甲賀・安乗地内(阿児の松原・安乗岬園地)

事業内容:薬剤地上散布 2.5ha

②松くい虫の被害から松を保全する為に薬剤の樹幹注入を行った。

ア 事業費:2,499,000円(県補助金2,499,000円)

施工場所:阿児町立神・甲賀地内

(立神:天童島・土井ヶ原、阿児の松原)

事業内容:薬剤樹幹注入 松265本 薬剤955本

イ 事業費:231,000円

施工場所:磯部町 阿児町 志摩町 地内(小中学校等)

事業内容:薬剤注入 松13本 薬剤80本

③松枯れの伐倒処理を行った。

ア 事業費:513,450円

施行場所:阿児町立神地内 磯部町渡鹿野地内

事業内容:松枯伐倒処理

(5) 緑化団体の育成・支援

(6) 山口農園管理業務

山口農園の除草、施肥、消毒等管理作業を行った。

346,600円(臨時作業賃金)

(7) 緑化推進委員会

緑化推進委員会会議を年2回開催した。

報酬:93,500円 旅費:3,300円

○林業畜産関係団体に関すること

○林業畜産物(特産物)の開発、指導及び奨励に関すること

○狩猟鳥獣に関すること

鳥獣飼養許可:17件

○有害鳥獣駆除のための捕獲許可に関すること

(1) 有害鳥獣捕獲許可

①有害鳥獣捕獲許可:196件

(2) 有害鳥獣防止対策

作物等に被害を与える鳥獣を捕獲、駆除する。

① 有害鳥獣防止対策事業

猪等による農作物の被害を防ぐために、電気柵を支給した。

事業費:5,197,251円

受益者負担:事業費の1/2

② 猟友会への有害鳥獣駆除委託

委託金:715,000円

○畜産の振興及び技術改良に関すること

○家畜の防疫及び保健衛生に関すること

県が実施する現地調査及び統計調査及び苦情処理に協力及び同行した。

南勢家畜保健衛生所が実施する鳥インフルエンザ対策等に協力した。

石灰配布

口蹄疫対策 774,000円(1,290袋)

鳥インフルエンザ対策 45,750円(75袋)

○畜産の環境保全に関すること

○その他林業保全に関すること

○土地改良事業に関すること

農業基盤の向上を図るため農道整備等を行った。

中山間地域総合整備事業

事業費 4,000,000円

負担金 600,000円

土地改良施設維持管理適正化事業支援業務

事業費 11,000,000円

(後沖頭首工の整備補修他)

○田園環境整備マスタープランに関すること

志摩市田園環境整備マスタープランを策定。

○農林道及び農林業用施設の維持管理に関すること

農林道維持管理

①主要農道10路線の道路除草、伐採、側溝清掃及び集水桝清掃、境界復元を行った。

主要農道維持管理業務委託料 3,113,512円

②主要林道2路線の道路除草、側溝清掃及び集水桝清掃を行った。

林道維持管理業務委託料 1,138,200円

農業用施設修繕工事

①農業用水路修繕 4,357,500円(2件)

施行内容:U字溝布設L=153m他

施行場所:磯部町穴川、下之郷地内

②農業用水路浚渫 3,340,050円(2件)

施行内容:浚渫V=544m³他

施行場所:阿児町神明、立神、鵜方、磯部町迫間地内

③農業用道路舗装修繕 12,127,500円(4件)

施行内容:アスファルト舗装工A=1,177m²他

施行場所:阿児町鵜方、甲賀、磯部町築地、坂崎地内

○湛水から防護するため施設の維持管理及び修繕を行った。

ア 排水機場の維持管理等に関する運転管理の業務委託

下之郷排水機場等運転管理委託料 246,000円

畔名排水機場運転管理委託料 300,000円

阿児川排水機場運転管理委託料 240,000円

坂崎排水機場運転管理委託料 240,000円

- イ 排水機場の維持管理に関する三重県土地改良事業団体連合会との(専門的)管理指導業務委託
排水機場管理指導業務委託料 2,856,000円
 - ウ 農地海岸維持管理事業委託
旧磯部町分農地海岸維持管理事業の業務委託料 200,000円(2名)
旧浜島町分農地海岸維持管理事業の業務委託料 240,000円(2名)
 - エ 阿児川排水機場樋門修繕工事
工事請負費 1,890,000円
- 災害復旧事業に関すること(農林水産施設災害復旧事業)
- ①農業用施設災害復旧工事 987,000円(2件)
施工内容:ブロック積工 A=18.4㎡他
 - ②農地災害復旧工事 2,326,800円(2件)
施工内容:ブロック積工 A=23.3㎡他

水産課

志摩市の沿岸漁業は、漁場環境の変化による生産性の低下と世界的な経済状況の悪化による魚価低迷により、厳しい経営状況となっている。特に真珠養殖業は世界的な真珠の増産と経済状況悪化の影響を強く受けて価格が低迷しており、産業構造そのものが崩壊する危機に面している。このような現状を踏まえ、志摩市水産業振興計画に基づき、水産業振興のための事業を関係機関と連携して実施した。

第1に「漁場環境の改善」施策として、海域の環境を的確に把握するためのモニタリングを実施するとともに、漁業者が実施する海洋観測事業や底質改善事業に対して補助を行った。

また、昨年度より開始された「環境・生態系保全活動支援事業」による的矢湾や太平洋沿岸における藻場の再生事業に引き続き支援を行った。このほか投石による積極的な漁場造成を実施した。

第2に「水産資源の適切な管理」施策として、三重県水産振興事業団と連携してマダイ、トラフグ、クルマエビ等広域連携による種苗放流事業を実施するとともに、アワビなど漁協が各地先で実施する種苗放流事業に対する補助を行った。

また、効率的な資源管理を進めるため、アワビの種苗放流効果を検証するための調査を三重県水産振興事業団と連携して実施した。

第3に「経営基盤の強化」施策として、漁協の経営再建を図るため、三重県南部の漁協合併が行われ、志摩市管内の漁協(鳥羽磯部漁協を除く)については、平成22年2月に三重外湾漁業協同組合に一元化された。合併後5年間での経営再建に向け、三重県、関係市町と連携して必要な経営支援を実施した。そのほか、三重県農林水産支援センターや三重県と連携し、新規に漁業への就業を希望する市民に対する就業支援を行った。

第4に「生産基盤の整備」施策として、安乗漁港広域漁港整備事業(県営事業)を実施し、波切漁港において県単漁港改良事業(県営事業)、名田漁港海岸侵食対策事業(市営事

業)、甲賀漁港海岸保全施設改修事業(市営事業)を実施し、漁港関連施設整備事業(市営事業)として経年劣化した施設の改修を行った。

その他、漁港及び漁港施設(公園・公衆便所)の維持管理、安全性・機能性向上などを目的に、維持修繕事業を行った。

第5に「ブランドの育成・振興」施策として、漁業者が実施する各種水産物のブランド化事業への支援を実施するとともに、志摩市あおさプロジェクトによるあおさ養殖の積極的な振興を図った。

1 水産業振興費関係

(1) 水産振興費関係

(ア) 英虞湾汚染対策調査業務

受託業者 : 三重県

委託料 : 1,000,000 円

事業内容 : 英虞湾内20測点における水質、底質調査を実施

(イ) 志摩市河川・海域等水質検査業務(的矢湾)

受託業者 : 三重県環境保全事業団

委託料 : 846,300 円

事業内容 : 的矢湾内5測点において、年2回の水質・底質・底生生物調査を実施。
環境課と共同で実施。

(ウ) 英虞湾観測事業(補助金)

英虞湾における真珠養殖漁場の海況変化や赤潮の発生を早期に発見し、迅速な対応を図るため、定期的な海況観測、水質調査を実施する真珠組合・真珠研究会に対し補助を行った。

事業主体 : 三重県真珠養殖漁業協同組合、立神真珠研究会等

事業費 : 1,902,027 円(内、市補助金 753,000 円)

事業内容 : 定期的な海況観測、プランクトン観測の実施

(エ) 自動観測ブイ管理事業(補助金)

英虞湾及び的矢湾に設置されている自動観測ブイを運用し、リアルタイムでの漁場環境情報の提供を図った。

事業主体 : 三重県真珠養殖連絡協議会

事業費 : 3,121,717 円(内、市補助金 1,070,000 円)

事業内容 : 英虞湾、的矢湾に設置された自動観測ブイ3台の運用管理

(オ) 環境・生態系保全活動支援事業(負担金)

船越地区地先及び伊雑の浦において漁業者が実施する藻場再生事業に対して経

費を負担するとともに指導を行った。

事業主体：船越地区藻場再生協議会・的矢湾アマモ再生協議会

事業費：2,700,000 円（内、市負担金 675,000 円）

事業内容：船越地区 ウニの駆除等による藻場再生
 的矢湾地区 アマモの播種による藻場造成

(カ) 三重外湾漁業協同組合に対する支援事業（補助金）

経営改善のため、三重外湾漁業協同組合が実施した公的支援による借り換え事業及び燃油販売経理事務省力化システム構築事業に対し、必要な補助を行った。

① 合併漁協支援事業

事業主体：三重外湾漁業協同組合

事業費：29,640,000 円（内、市補助金 2,134,000 円）

事業内容：公的支援による借り換え事業（1,900 百万円）にかかる保証料を支援

② 合併漁協事業システム構築事業

事業主体：三重外湾漁業協同組合

事業費：79,777,194 円（内、市補助金 3,700,000 円）

事業内容：燃油販売経理をシステム化することで事務コストを削減し、燃油価格を引き下げ、漁業者の営漁経費削減を図った。

(2) 栽培漁業推進費関係

水産資源の増大を図るため、各種種苗の放流事業に取り組んだ。

(ア) 種苗放流事業（補助金）

① アワビ

事業主体：三重外湾漁業協同組合、大王種苗センター運営委員会

事業費：9,675,015 円（内、市補助金 4,837,000 円）

事業内容：アワビ 25～30mm 170,500 個を放流（種苗を購入して放流）
 アワビ 15mm 230,000 個を購入し中間育成後に放流

② サザエ

事業主体：三重外湾漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合

事業費：520,000 円（内、市補助金 185,000 円）

事業内容：サザエ 15,400 個を放流

③ ナマコ

事業主体：三重外湾漁業協同組合、鳥羽磯部漁業協同組合

事業費：730,000 円（内、市補助金 285,000 円）

事業内容：ナマコ 4,678 尾を放流

④トラフグ

事業主体 : 三重外湾漁業協同組合、志摩南部地区ふぐ延縄連合組合
事業費 : 3,050,000 円(内、市補助金 1,127,000 円)
事業内容 : トラフグ 101,700 尾を中間育成・放流

⑤クロダイ

事業主体 : 鳥羽磯部漁業協同組合
事業費 : 120,000 円(内、市補助金 60,000 円)
事業内容 : クロダイ 3,000 尾放流

⑥カサゴ

事業主体 : 三重外湾漁業協同組合
事業費 : 800,000 円(内、市補助金 400,000 円)
事業内容 : カサゴ 16,000 尾放流

⑦ヒラメ

事業主体 : 三重外湾漁業協同組合
事業費 : 576,000 円(内、市補助金 288,000 円)
事業内容 : ヒラメ 14,400 尾放流

(イ)種苗放流事業(負担金)

①クルマエビ・ヨシエビ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 1,150,000 円
事業内容 : クルマエビ、ヨシエビを放流。
放流尾数 : クルマエビ 1,000,000 尾を中間育成後放流
ヨシエビ 150,000 尾を中間育成後放流

②マダイ

事業主体 : (財)三重県水産振興事業団
負担金 : 1,065,000 円
事業内容 : マダイ種苗 54,000 尾を中間育成後放流

(3)海外研修生受入事業費関係

(ア)インドネシア共和国からカツオー一本釣漁業研修生を受入れ、市内において座学研修及び乗船研修を行った。

受託業者 : 三重外湾漁業協同組合
委託料 : 志摩 11 期生(H21 受入れ) 4,026,000 円
事業内容 : カツオー一本釣漁船による乗船研修(志摩 11 期生)

(イ)インドネシア共和国からカツオー一本釣漁業研修生を受入れ、市内において座学研修及び乗船研修を行う事業に対して補助を行った。

事業主体：三重外湾漁業協同組合

事業費：4,650,000 円(内、市補助金 1,200,000 円)

事業内容：カツオー一本釣漁船による乗船研修(志摩 12 期生)

(4)沿岸漁場整備事業費関係

(ア)漁業基盤の整備による磯根資源の増大を図るため名田地区地先において、県単沿岸漁場整備事業による投石事業を行った。

施工業者：作田建設有限会社

工事請負費：2,058,000 円

事業内容：1,000kg 内外自然石 396 m³投入

(イ)アコヤガイに被害を及ぼす貧酸素水塊等の発生を抑制し、安定した真珠の生産を維持するため、真珠養殖漁業協同組合が底質改良剤(クリアウォーター)を散布する事業に対し補助を行った。

事業主体：神明真珠養殖漁業協同組合

事業費：2,688,000 円(内、補助金 1,792,000 円)

事業内容：底質改良剤(クリアウォーター)800 袋の散布

(5)増殖センター施設費関係

阿児増殖センター及び大王種苗センターの管理運営を行った。

事業費：1,888,596 円

事業内容：アワビ稚貝 100,000 個を中間育成(阿児増殖センター)。

(6)漁業経営構造改善事業費関係

漁業基盤の整備による磯根資源の増大を図るため、船越地区地先において、投石事業を行った。

施工業者：有限会社出馬重機

工事請負費：4,105,500 円

事業内容：1,000kg 内外自然石 820 m³投入

(7)あおさプロジェクト事業費関係

あおさ養殖の振興を図るため、あおさの知名度向上に関するPRやあおさ養殖の安定を図るための技術開発を行った。

事業費：1,312,294 円

事業内容：あおさの知名度向上のため、ホームページやパンフレットによる情報発信及び、イベント等において試食とノベルティの配布を行った。また、生産安定に向け、三重県と連携して養殖網の冷凍技術開発を実施した。

2 漁港管理費関係

(1) 公衆トイレ等維持管理事業費関係

(ア) 漁港施設(公園・トイレ)清掃委託料

漁港施設(公園2箇所・トイレ 13 箇所)の清掃作業について委託契約を締結し、維持管理を行った。

受託業者: 志摩市シルバー人材センター、他 6 者

委託料: 1,244,832 円

(2) 漁港建設費関係

(ア) 漁港関連施設整備事業(地域活性化・きめ細かな臨時交付金:繰越明許費)

漁港関連施設は、経年劣化により利用者への安全対策や維持管理に支障をきたすようになってきているものにつき、施設の修繕・改修を行った。

◆田神グラウンド改修(フェンス等設置工)

◆甲賀漁港改修(防護柵工)

◆和具漁港関連用地改修(張コンクリート工)

事業主体: 志摩市

施工業者: ヨコタ建設

総事業費: 3,990,000 円

3 漁港建設費関係

(1) 広域漁港整備事業費関係

(ア) 安乗漁港県営広域漁港整備事業(負担金)

安乗漁港は、中型まき網船の操業増加等により、用地及び係留施設が不足していたため、陸揚げ作業が集中する時間帯には、漁船は相当な時間の港内待機を強いられ、これを解消し作業及び流通効率の向上を図るため用地整備、陸揚げ係留施設整備を行ってきた。

平成 21 年度に設置した浮棧橋に、鳥害対策用柵と表示灯を設置した。

事業主体: 三重県

総事業費: 1,987,650 円

市負担金: 795,000 円[事業費×4/10]

(2) 波切漁港県単漁港改良事業費関係

(ア) 波切漁港県単漁港改良事業(負担金)

荒天時の避難船等の外来船の係留のため、中突堤に係船環(20 基)を設置した。

事業主体: 三重県

総事業費: 655,200 円

市負担金: 262,000 円[事業費×4/10]

(3) 名田漁港海岸保全施設整備事業費関係

(ア) 名田漁港海岸保全施設整備事業(国補)

名田漁港海岸においては、長年に渡り波浪の影響を受け、天然護岸の侵食面が背後集落に近づいてきており、消波ブロックを設置することで更なる侵食を防ぎ、背後集落の防護事業を行った。

事業主体：志摩市

受託業者：三重県建設技術センター

施工業者：(株)山下組

総事業費：36,865,500 円

(4) 甲賀漁港海岸保全施設改修事業費関係

(ア) 甲賀漁港海岸保全施設改修事業(県単)

甲賀漁港海岸保全施設(一の坪堤防)の道路部分が陥没し、雨が続いたときに上流域が水没する恐れがあるため、復旧改修工事を行った。

事業主体：志摩市

受託業者：三重県建設技術センター

施工業者：(株)三橋組

総事業費：21,067,200 円

商工課

国全体の景気は、一部に回復の兆しもみえるが、円高・デフレ状況下で厳しい状況が続いている。生産高・売上高減少、経営利益減少が続き雇用情勢の低迷、資金繰りの悪化の中、消費・住宅着工に回復の兆しは見えるものの動きは鈍く、全体的に来期も厳しい状況が続くとみられる。

この志摩地域においてもそうした経済不況の影響を受け、長引く地場産業の低迷に苦慮する状況が続いているのは変わりなく、依然として厳しい現状が続いていると言わざるをえない。このような状況を打破し、地域における商工業の振興を図るにあたっては、国及び県の行う各種の景気回復策に同調して施策を展開することが必要不可欠であると考える。

地場産業の振興、地域経済の活性化に繋げるために、「稼げるまちづくり事業」として、新鮮な市内の農林水産物等を供給し、地産地消を目的とした朝市事業・移動販売、市内の特産物等を展示・販売・PR するために特産物等販路開拓事業を展開した。また、長野県木祖村や岐阜県富加町の「道の駅」及びイオン阿児店で「御食つ国志摩の物産展」を行った。

地域の商工業者との係わりが深い地元商工会との連絡調整は不可欠であり、常に連携を図りながら、地域の特性を生かした事業展開を推進し、中小企業及び個人事業者の安定と振興並びに経営革新を図るよう努めた。

賢島活性化事業として、環境にやさしいLED電灯を使用して賢島LED防犯灯取替工事を実施し、既存の防犯灯14基の取替及び新設で4基の合計18基を設置した。観光客等が夜でも気軽に町並み散策ができるような「にぎわいの空間づくり」を行った。

また、消費者行政として、全国的に多発している悪質商法・振り込め詐欺等による被害防止や多重債務者相談のため、消費生活相談員を配置(毎週水曜日)した。

(1) 商工振興

- ・地域商工業の振興に関する事務(補助金交付事務を含む。)
- ・地元特産品県内外PRのための宣伝事業の実施
- ・中小企業融資制度に関する事務

(2) 消費者行政

- ・消費生活相談の受付対応、多重債務者相談会の開催
- ・生活情報、暮らしの知識の啓発
- ・消費生活相談員の配置(毎週水曜日)、消費者啓発リーフレットの配布

(3) 労働行政

- ・雇用安定対策に関する啓発
- ・最低賃金周知に関する啓発

(4) 商工祭

- ・地域住民総参加のふれあいの場として、また地域の活性化と地域産業の発展を図ることを目的として開催された阿児地区の「ええじゃんかまつり」、磯部地区の「いそべまつり」、大王地区の「絵かきの町・大王ふれあい祭り」、志摩地区の「あわび王国まつり」に対し、各々の実行委員会に補助金を交付し、開催について後援・協力した。

(5) 賢島活性化事業

- ・賢島LED防犯灯取替工事
施工業者 大王町波切1204番地4 光栄電機商会
請負額 1,850,100円

(6) サンアール磯部関係

- ・穴川地区地域振興協力金:磯部町穴川字斧峠に愛知県競馬組合が運営する場外馬券発売所を設置するにあたり、同組合より志摩市に支払われる納付金の全額を、地縁団体穴川区に協力金として支払う旨を記載した「覚書」に基づき支出した。
協力金支出額 903,403円
愛知県競馬組合H22交付金 903,403円

(7) 補助事業

商工会運営補助金	23,700,000円
商工会事業補助金	3,657,000円
真珠婚補助金	128,000円
南志摩たばこ販売協同組合補助金	400,000円
街路灯組合補助金	499,000円
志摩町商工業協同組合補助金	384,000円
ええじゃんかまつり補助金	1,800,000円
いそべまつり補助金	1,260,000円
絵かきの町・大王ふれあい祭り補助金	1,980,000円
あわび王国まつり補助金	2,700,000円

(8) 雇用対策事業

産業振興・観光商品開発事業(ふるさと雇用再生)委託料	4,909,000円
特産物等販路開拓事業(ふるさと雇用再生)委託料	21,359,000円
商工業者等実態調査事業(緊急雇用)委託料	3,000,000円
朝市事業(緊急雇用)委託料	3,554,000円
お買物調査事業(緊急雇用)委託料	2,609,000円
産業振興情報提供事業(緊急雇用)直接雇用	1,885,000円

観光戦略室

○観 光 関 係

観光庁が、2泊3日以上滞在型観光につながる地域づくりに向けて「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」が平成20年7月23日に施行。この法律に基づき、国から総合的な支援を5年間受けることの出来る観光圏整備事業の対象となる“観光圏”として、伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町の3市1町からなる「伊勢志摩地域観光圏」が平成20年度に認定され、この事業計画に基づいた伊勢志摩地域の観光施策の実施や魅力ある観光地づくりを進め、長期滞在型観光の促進に日々取り組んでいる。

平成22年度においては、観光客誘客のため、ふるさと雇用再生特別基金を活用した事業として、FM三重を媒体とした志摩市の広報番組を制作し、週1回55分間の番組を放送するなど情報発信の充実を図ったほか、伊勢神宮内宮前から志摩市内を結ぶ直行バス「御食つ国・志摩号」を運行し、来訪者への利便性の向上を図り観光客の誘客促進と地域経済の活性化を目的とした事業を行うとともに、各種イベント等観光協会をはじめとする関係機関や各種団体と連携を強化して、志摩市への誘致宣伝に努めた。

スポーツ観光分野では、ミズノクラシックの2011年以降の継続開催に向け、積極的な

働きかけを行い継続確定の状況をつくり出したほか、志摩ロードパーティ、ササユリカップシニアソフトボール大会、サイクルトレイン等のスポーツを通じて幅広い年齢層の方々が楽しめるスポーツ観光都市をさらに推進するため、新たに「伊勢志摩ソーデーウオーク」の誘致を図った。また、食と観光の分野では、昨年に引き続き、5日間連続の「年末海族市」を開催し多くの集客を得ると同時に、産業振興部が一体となり、三重ブランド認定品である「あのりふぐ」の認知度向上と観光誘客につなげることを目的とした「あのりふぐブランド向上セミナー」や地域資源を活用した新商品、新サービスの開発を図るため農商工が今後連携して取り組むことを目指した「農商工連携・地域資源活用セミナー」を三重県等と連携して実施するなどし、志摩の水産物や特産品の消費拡大と観光PRを展開した。さらに、教育旅行の誘致でも川崎市において学校関係者・旅行会社を集めた会場で市長による食の体験発表会を開催し、好評を博した。

この他、海女文化の継承と観光振興、他地域との交流促進を目的とした「海女サミット」や、多くの「絵かき」が訪れる「絵かきの町・大王」を広く発信し、芸術文化の発展と美術愛好者の来訪促進を目的とした「絵かきの町・大王第7回写真コンテスト」を開催した。

しかしながら、平成22年の観光客入込数は約403万5千人で、昨年より日帰り客数は増加したものの宿泊客数が伸びず、全体の前年比としては微減となった。

(1) 観光関係団体に関すること

志摩市観光協会をはじめ、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構、(財)伊勢志摩国立公園協会などの関係機関・団体等との連携、相互協力による地域イベントの実施により誘客に努めた。

(2) 観光施設の整備、運営に関すること

◆パークゴルフ場の管理に関すること

市内在住者を対象に無料開放デーを実施するなど、パークゴルフの普及に努めるとともに、ボランティアの協力を得ながら除草や花植え等コース環境の整備の充実を図るなど利用者の利便性と利用率の向上に努めた。

◆阿児の松原スポーツセンターの管理に関すること

通年テニスコート及び駐車場の管理運営を行うほか、老朽化の激しいプールの塗装及び補修を行った後、7月1日から8月31日の間プールを開設した。

◆自然公園の管理に関すること

伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、(財)伊勢志摩国立公園協会並びに環境省自然保護官等と連携を図り、GGG 緑化事業、国立公園清掃事業の窓口を担い、園地等の管理及び美化清掃活動を行った。

その他、海水浴場、わんさかわんさ、近畿自然歩道など観光施設等の管理・運營業務及び公衆トイレの清掃、維持管理業務の委託を行った。公衆トイレに関しては、地元観光関連事業者から要望のあった安乗浦の浜に公衆トイレの新設を行った。

市内海水浴場においては、三重外湾漁協等に運営を委託し、「安心・安全な海水浴場」のイメージアップを図るとともに、阿児の松原海水浴場では来場者に呼びかけ「志摩コーストガーディアンズ」の防災訓練への参加協力を行った。

また、観光客等の利便性向上を図るため、市内10か所と伊勢市内1か所に観光情報案内板を整備した。

道の駅「伊勢志摩」・南張海浜公園・安乗埼灯台資料館については、引き続き指定管理者制度により管理運営を行った。

(3) 観光誘致宣伝に関すること

4月、四日市の近鉄塩浜駅で開催された「近鉄鉄道まつり」、5月には、愛知県豊川市で開催された「豊川市民まつりおいでん祭」、1月には、セントレアにおいて実施した「松阪・伊勢志摩観光物産展」へそれぞれ参加し、地域間の交流を深めるとともに誘致宣伝活動を行った。

10月1日から3月31日の間には、伊勢市・鳥羽市・県等と連携して、官民一体となった「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、関西・中部圏を中心とした旅行エージェント関係等への宣伝活動や各種イベントを開催して観光PR活動を行ったほか、2月に東京と大阪で開催された(社)三重県観光連盟主催のメディア交流会へ観光協会と協同で参加し、23年度事業である伊勢志摩ソーデーウオークやS-1グランプリを紹介するとともに、志摩の食材(あおさ、バタ貝、あこや貝柱等)をPRした。

また、マスメディア関係からの取材依頼に対する協力や伊勢志摩フィルムコミッションへの支援、旅行雑誌などへの広告掲載を行い、志摩市の知名度の向上を図った。

(4) 教育旅行の誘致に関すること

三重県、伊勢志摩地域の3市1町(伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町)、各観光協会、商工会議所、商工会、漁協、宿泊施設、観光施設、旅行会社などが一体となり国内・海外からの学生団体旅行等を伊勢志摩地域へ誘致することを目的に発足した「伊勢志摩学生団体誘致委員会」の会員として、学生団体旅行等の誘致活動を行なった。

主な活動内容

- ・ 近鉄到着駅での歓迎セレモニーの実施
- ・ 7月5日～7日・12日～14日 首都圏公立中学校集中セールスキャラバン
神奈川県横浜市・川崎市・大和市・東京都の公立中学校207校の訪問に参加。
- ・ 8月23日 伊勢志摩修学旅行「体験学習」発表会
川崎市産業振興会館企画展示場にて、志摩市をPR。
- ・ 1月27日 体験学習指導者研修会
会員相互が自然環境に対する知識を学び、指導者としての資質向上を目指した。
- ・ 2月16日～18日 関西圏公立小学校集中セールスキャラバン
尼崎市・西宮市・神戸市・明石市の公立小学校279校の訪問に参加。

(5) スポーツコンベンションに関すること

11月5日～7日に開催された全米女子プロゴルフ協会公式戦「ミズノクラシック～伊勢志摩～」において、主催者側との連絡調整やボランティアスタッフの募集など、大会支援の窓口として対応するとともに、鵜方駅・賢島駅を中心とした環境整備(プランター花壇)や

出場選手紹介パネルの掲示、主要道路周辺への「のぼり旗」の設置などを行い、来訪者の歓迎を演出した。また、会場内の観光PRブースにおいて、「志摩市観光動態及びミズノクラシックに関するアンケート」を実施し、回答者には「あおさノベルティ」を配布するなど「志摩のあおさ」のPR強化も併せて行った。昨年に続き、出場選手に対する歓迎イベント「英虞湾クルージング(海女の実演と真珠取り出し体験)」を実施するとともに、主催者側が大会初日に実施する「プライムリゾートガーデンパーティ」において、志摩自然学校で実施しているウォーターボールをプールのディスプレイとして設置しPRを行った。

その他、観光協会等と協同して「第3回中ブロック実年ソフトボール大会」を11月13日、14日に、「第11回ササユリカップシニアソフトボール大会」を3月5日、6日に実施した。

(6) 観光客の集客交流に関すること

2月19日に志摩スペイン村と連携し、「パエリャコンクール in 志摩」を開催し、観光PRと市民・観光客から来場者の交流を図った。

また、観光協会等と協同して「御食つ国・志摩年末海族市」や近鉄志摩線活性化対策事業として「サイクルトレイン」、「利き酒列車」など各種集客交流イベントを実施した。

(7) エコツーリズムに関すること

新たにウォーターボール体験を導入した志摩市全域をフィールドとする自然体験プログラムを企画し、実施することによりエコツーリズムの推進拠点となる「志摩自然学校」運営の業務委託を行った。

(8) 観光統計に関すること

市内各宿泊施設や観光施設の協力のもと、入込み客数について調査を行った。

(9) 施設利用状況

施 設		利用者数 (人)	使用料(円)
道の駅「伊勢志摩」		234, 077	—
志摩パークゴルフ場		28, 771	8, 484, 200
阿児の松原スポーツセンター		14, 644	4, 653, 700
内 訳	プール	5, 094	1, 112, 800
	テニスコート(駐車場利用含む)	9, 550	3, 540, 900
産業振興会館「ちしろ」		1, 023	—
集客交流拠点施設「わんさかわんさ」		8, 625	—
志摩自然学校		6, 503	—

(10) 工事関係

(円)

(繰越)安乗浦の浜公衆トイレ新築工事	5, 171, 250
(繰越)阿児の松原スポーツセンタープール改修工事	6, 041, 542
観光情報案内看板整備工事(五知峠案内板・天の岩戸案内板)	409, 500
観光情報案内看板整備工事(麦埼灯台案内板)	220, 500
観光情報案内看板整備工事(物産センター前公衆トイレ案内板・金比羅山爪切不動尊案内板)	276, 150
観光情報案内看板整備工事(長沢小公園前公衆トイレ案内板・波切小公園公衆トイレ案内板)	246, 750
観光情報案内看板整備工事(横山案内板)	361, 200
観光情報案内看板整備工事(おうむ岩案内板)	258, 300
観光情報案内看板整備工事(安乗埼灯台案内板)	394, 275
観光情報案内看板整備工事(志摩市誘導案内板)	735, 000

(11) 補助金及び負担金事業

(円)

伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会負担金	150, 000
メディア交流会参加負担金	50, 000
東海地区外国人観光客誘致促進協議会負担金	200, 000
三重県観光連盟負担金	811, 000
伊勢志摩観光コンベンション機構負担金	17, 985, 673
伊勢志摩国立公園協会負担金	986, 000
伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会負担金	6, 500, 000
伊勢志摩国立公園自然ふれあい活動事業負担金	300, 000
伊勢志摩国立公園清掃活動事業負担金	685, 000
伊勢志摩キャンペーン負担金	4, 000, 000
伊勢志摩ビジターセンター管理分担金	117, 000
三重テレビ放送「新番組」制作負担金	1, 500, 000
伊勢志摩学生団体誘致委員会負担金	600, 000
観光協会運営補助金	14, 400, 000

観光協会事業補助金	5, 800, 000
温泉振興補助金	39, 800, 000
ビジットジャパンキャンペーン事業負担金	801, 000
まち歩き観光小径づくり支援事業補助金	2, 300, 000
伊勢えび祭保存会補助金	5, 980, 000
大島祭協賛事業助成金	500, 000

浜島磯体験施設「海ほおずき」

磯体験施設「海ほおずき」は、平成16年4月に開館し、平成22年度については、浜島地区の集客交流拠点としての機能を充実させるため、都市住民への漁村文化・暮らし等の各種体験事業の提供として「都市と漁村の交流の促進」、漁村集落の活性化を図るための「水産業の健全な発展と調和」という施設整備の主旨に沿い、下記の各体験事業を実施した。

1. 入場者数及び収入状況

① 入場者数	ア. 有料体験者人数	17, 225人
	イ. 無料体験者人数	3, 710人
	ウ. 施設見学等無料来館者数	5, 113人
	計	26, 048人
② 収入	ア. 使用料(体験料)	10, 623, 266円
	イ. 雑入(売店販売等)	575, 413円
	計	11, 198, 679円

2. 事業別体験者数及び収入状況

(1) 磯体験事業

磯体験については、4月1日に本オープンし、10月末日で終了し3月20日(春休み)に合わせて再オープンした。

10月中旬から3月15日まで「伊勢えび釣り体験」「アジ釣干物体験」「鯛釣り体験」を実施した。

■わんぱく磯総利用者※冬季期間中釣り体験含む(体験者数)

ア. 利用者数	有料総体験者人数	11, 034人
	無料総体験者人数	3, 710人
	計	14, 744人

イ. 収入状況	5, 565, 765円
---------	--------------

(2) 故郷料理体験事業

伊勢志摩地域を代表する郷土料理(てこね寿司)ならびに(海鮮カレー・チャーハン等含む)、沖おにぎり、魚食文化体験としての【おととランチ体験】を、提供し地元の素朴な漁村の昼食を食することにより、郷土の魚食文化、食育体験の推進や生活習慣の紹介を行った。

ア. 体験者数	4, 114人
イ. 収入状況	3, 810, 901円

(3) 水産加工体験事業

新鮮な材料による干物造り体験(魚種:アジ、カマス、サンマ、その他)を実施した。

(課題:消費者の魚離れ、消費拡大、魚価の低迷等)。

ア. 体験利用者数	1, 347人
イ. 収入状況	885, 200円

(4) 学習体験事業

びん玉作り(びん玉の用途、使用方法、作り方等について)、ルアーホルダー作り(模擬ルアー作り)、プレート作り(木型で作ったプレートに色を付けることにより魚種の紹介)、塩作り(海水から真塩が出来ること、身近な環境問題)、淡水真珠ストラップ作り(淡水真珠、ビーズ、釣り糸、魚の模型を利用したストラップ)、シェルアート作り(タイルに魚の形を書き、あこや貝を貼り付け色付けをする)等の学習体験を実施した。

ア. 体験利用者数	730人
イ. 収入状況	361, 400円

(5)その他事業

①自家製干物販売収入	205,700円
②その他物品販売収入	252,245円
③自動販売機等手数料	117,468円
計	575,413円

3. 各種体験に伴う主な歳出の状況については、次のとおりである。(原材料費仕入分)

(1)各体験教室原材料仕入れ費	4,431,864円
(2)わんぱく磯魚類(釣り体験含)購入費	1,418,975円

ともやま公園事務所

1. 事業関係

本年度の施設利用者数は、キャンプ村 5,149 人(前年度 6,712 人)野外活動センター 4,013 人(前年度 4,652 人)球場 4,757 人(前年度 3,785 人)テニスコート 1,248 人(前年度 1,822 人)屋内運動場 4,769 人(前年度 5,028 人)トレーニングルーム 206 人(前年度 334 人)プール 3,266 人(前年度 2,730 人)海水浴場 10,216 人(前年度 10,448 人)イベント広場 200 人(前年度 237 人)となった。

キャンプ村利用団体数は、県外 28 団体(前年度 17 団体)、県内 8 団体(前年度 9 団体)、市内 19 団体(前年度 12 団体)の合計 55 団体(前年度 38 団体)、野外活動センター利用団体数は、県外 28 団体(前年度 23 団体)、県内 20 団体(前年度 20 団体)、市内 10 団体(前年度 8 団体)の合計 58 団体(前年度 51 団体)となった。

野外体験活動としては、らでん細工教室 5 回 127 人(前年度 3 回 43 人)イカダ体験教室 16 回 1,058 人(前年度 14 回 1,096 人)ウミホタル自然観察会 32 回 1,849 人(前年度 29 回 1,680 人)ストーンペインティング教室 1 回 6 人(前年度 1 回 3 人)を実施した。

2. 平成 22 年度ともやま公園施設利用状況 (施設使用料)

	施設名	H21 利用者数	H21 使用料	H22 利用者数	H22 使用料
①	キャンプ村	6,712	5,692,020	5,149	3,788,760
②	野外活動センター	4,652	7,699,250	4,013	7,662,500

③	多目的屋内運動場	5,028	488,700	4,769	489,300
④	トレーニング室	334	33,950	206	19,200
⑤	イベント広場	237	10,500	200	2,500
⑥	プール	2,730	330,900	3,266	372,700
⑦	球場	3,785	303,200	4,757	358,550
⑧	テニスコート	1,822	371,450	1,248	266,150
⑨	次郎六郎 海水浴場	10,448	—	10,216	—
<合計>		35,748	14,929,970	33,824	12,959,660

(雑 入)

	施設名	H21 利用者数	H21 使用料等	H22 利用者数	H22 使用料等
①	海水浴場 シャワー使用料	2,048	204,800	2,397	239,700
②	海水浴場 売店土地使用料	2	200,000	2	200,000
③	海水浴場 ロッカー使用料	540	108,000	647	129,400
④	海水浴場 駐車場管理代	705	704,200	686	688,300
⑤	販売品売上金	—	350,120	—	216,610
⑥	野外活動教室代	2,822	894,800	3,040	1,004,500
⑦	活動センター宿泊者キ ャンプ村施設使用料	—	187,600	—	187,200
⑧	海水浴場送迎バス 運行負担金	1,609	160,900	2,223	222,300
⑨	太陽光発電電気売 上料	—	62,162	—	131,808
⑩	観光センター電気 等使用料	—	1,048,904	—	1,152,607
<合計>		7,726	3,921,486	8,995	4,172,425

3、海岸維持修繕事業委託金	600,000 円
4、ともやま園地管理委託金	910,000 円
5、賃貸料(電柱等の占用料)	24,860 円
6、平成 22 年度の主な支出状況	
① 次郎六郎海水浴場送迎委託料	1,240,000 円
② 次郎六郎海水浴場維持整備業務等委託料	490,776 円
③ 野外活動センター寝具リース料	277,200 円
④ 野外活動センター寝具リネン料	454,386 円
⑤ 浄化槽清掃料	1,426,005 円
⑥ 便所汲取料	507,600 円
⑦ 野外活動センター地デジ対応テレビ購入	903,210 円
⑧ キャンプ村貸出用テント購入	1,253,700 円